高知県産業振興計画の実行に向けた住民説明会
～みんなが主役　高知の元気発進プロジェクト～

6月9日、市立中央公民館で『高知県産業振興計画の実行に向けた住民説明会～みんなが主役　高知の元気発進プロジェクト～』が開催されました。

この説明会は、県が経済活性化のために作成した『高知県産業振興計画』の実行に向けて、尾﨑知事から県民に説明を行うもので、県内の7つ（安芸・物部川・高知市・嶺北・仁淀川・高幡・幡多）のブロックで開催し、今回は物部川流域の住民を対象に行われました。当日は約230人の参加があり、知事からの説明の後、参加者との意見交換がされました。

知事からの説明要旨

これまでの計画との違い

①これまでも県はいろいろな計画を持っていましたが、部局ごとの連携ができていませんでした。今回の産業振興計画は、産業間の連携を重視しています。

②生産だけではなく、加工・流通販売にも力を入れ、県民の所得・雇用を生み出します。

③策定段階から多くの民間の方（1500人以上）にかかわっていただき、策定しました。

④計画は、毎年見直しをかけ、新しい取り組みを積極的に取り入れていきます。

⑤実行に向け、誰がいつまでに、何をやるかをはっきりさせ、予算措置を行っています。また、県庁の幹部職員（地域産業振興監）を各地域に派遣しています。

地産地消・地産外商

四国の中で、高知県ほど、外にお金を支払っている県はありません。この流れを逆回転し、他県・国外からお金を入れる力をつけていくためにも産業間の連携を強めていきます。消費者の目線での商品開発に努め、スーパーマーケットやアンテナショップで試し売りを行い、商品のレベルアップを行います。そして、物をつくる時にはできるだけ県内事業者で作っていただきます。加工する過程で値段が何倍にも上がり、所得が生まれます。

観光について

高知県は、観光客一人当たりが使うお金がとても少ないです。『龍馬伝』放送に向けて、お金を使ってもらえる観光地づくりを行っていきます。また、観光地までの交通については、従来からの課題でしたが、今度こそ地域交通の整備を成功させたいと思います。

担い手の育成・確保
新分野への挑戦

第1次産業も、担い手が少なくなっており、強みが強みでなくなりつつありますので、担い手の育成を支援します。また、将来を目指して、新しい産業を作っていくことで、産業のすそ野を広げていきます。

高知県産業振興計画

抜本的な改革のための3つの基本方向
1　足下を固め、活力ある県外市場へ打って出る
2　産業間連携の強化
3　足腰を強め、新分野への挑戦

産業成長戦略　311施策
◆農業・林業・水産業・商工業・観光の5つの産業分野およびこれらを結ぶ連携テーマ
◆これからの対策をいつ、どのような形で実施するのか明確化

具体化　⇩　　⇧　戦略化

地域アクションプラン　221事業
◆県内を7ブロックに分けて、産業成長戦略に沿って地域が目指す産業の姿や、そこで進める具体的な取り組み
◆地域からの発案で提案された取り組みと、産業成長戦略を地域で具体化する取り組み

意見交換（抜粋）

林業について

問　不況を受け急激な木材価格の下落がありました。このような急激な変化には、この1年を乗り切るための、需要の拡大、価格調整などの手立てを早急にお願いしたい。

答　対応を考えたいと思います。木材需要を伸ばす点については、キット化した木材を県外へ出荷していく取り組みなどを強化していかなくてはならないと思っています。また、林地残材をチップにして生かすということも考えていかなければならないと思います。生産調整については、国の施策ともかかわりますので、今すぐには、お答えできませんが、この事態への対応について、国にも話をしていきたいと思います。

土佐くろしお鉄道について

問　土佐くろしお鉄道については、会社設立・運営に対し、出資金・補助金を出していると思うが、県としてはどのような位置付けなのか。

答　観光の観点からしても、インフラを無くしていく時期ではないと思いますので、今後も維持していくスタンスに変わりありません。

企業誘致について

問　物部川流域は空港や大学もあり、また高知県の中核地域であるので、ぜひ企業誘致を進めていただきたい。

答　全国でも今後伸びていくような企業の誘致と併せて、地元の企業にメリットがあるような企業誘致も考えていきます。

高知県では、物をつくろうとする時に、全部で3工程まであるとして、1と3はあるが2がない場合が多いく、この抜けている第2工程のところに企業を誘致できないか考えています。

県のサポートについて

問　今までも、交通や販売に対して補助がありましたが、県はどこまでサポートしてくれますか。

答　いつまでもという訳にはいきませんが、知恵・アイデアはあるが、資金がない場合などには、1年とか2年という期間で対応をしたいと思います。

物部川地域の22のアクションプラン

フラフラ　フラくん

©やなせたかし　土佐打刃物タンちゃん

3市共通
1．大学生による
　地域応援団（サポーター）づくり
2．民有林における間伐の推進
3．木質バイオマスの活用に向けての取り組み
4．県産材の利用推進

香美市・香南市共通
1．香美市・香南市の園芸主幹品目の振興

香南市
1．農産物加工等への取り組み計画
2．シイラの加工商材活用
3．香南市コミュニティガイド事業
4．体験観光型メニューの滞在型旅行
　商品化アクションプラン

香美市
1．高齢農家とともに支える農業の仕組みづくりと
　集落の活性化
2．物部のユズを総合的に売り出す取り組み
　～ユズのトータルステーション（拠点）の構築～
3．香美市ブランドの確立・特産品づくり
4．作業者の確保
　～「雇いたい人」「働きたい人」のマッチング～
5．地場産業（土佐打刃物・フラフ）の振興
6．観光交流の受け皿づくり

南国市
1．南国市の園芸主幹品目の振興
2．地産地消・食育の推進
3．生産者と消費者をつなぐ場づくり
　～まずは農家レストラン～
4．地域の特産品づくり
　～農産物加工への取り組み～
5．「ごめん」をブランド化
　～トライアングルゾーンの活性化～
6．観光交流のネットワークづくり
7．歴史的資源を活用した地域活性化への取り組み
　～土佐のまほろば～

【問い合わせ先】
高知県産業振興推進物部川地域本部　☎57−0015
香美市土佐山田町加茂777　香美農林合同庁舎1F